

あ か つ き

同窓会報

編集と発行 田原東部小学校同窓会 題字 白井 優 (昭和15年卒)

田原東部小学校区 R5. 3. 31現在

田原東部の人口			
地区人口		児童数 (R5.5.1)	
豊島	2,050	141	
御殿山	419	37	
谷熊	578	29	
相川	187	16	
やぐま台	744	39	
合 計	3,978	262	

印刷所 なつめ総業(有)

思い出深かった 同級会

同窓会長 彦坂辰二
(昭和三十九年卒)

昨年の七月に悲しい知らせが届きました。前の同窓会長の白井庸先生が亡くなられました。享年七十五才でした。先生は、平成二十八年から四年間、東部小学校同窓会長として重責を果たされました。東部小学校の教頭、童浦小学校長等を勤められ、退職後母校のクラブ講師として、児童にコンピュータ教育の楽しさを味わわせてくれました。又カメラが好きで東部小学校近辺の野鳥や動物の写真を撮影し、校内に飾ってあります。心よりご冥福をお祈りします。さて、私たち昭和三十九年卒業生はこれまで何回か同級会を開いてきました。そのうち、特に思い出深かった三回の同級会を紹介します。

一つ目は、小学校を卒業した夏休み、田原の海水浴場で担任だった河辺俊郎先生とみ

んなで泳いだ事です。海水浴場で泳いだ後、近くの民家から鍋を借りてきて、海で捕まえた蟹を茹でてみんなで食べました。野性味たっぷりでもおいしかった記憶があります。

二つ目の思い出は、四十二歳の厄年になったとき。地元に残る同級生でバス一台を貸し切りにして箱根まで旅行に出かけたことです。地元の長仙寺でお祓いを受けた後、楽しいバス旅行です。小学校時代に戻った同級生二十人程で温泉を楽しみました。温泉卵も味わいました。ラーメン屋のS君が屋台の味巡りをしていたのを思い出します。

三つ目の思い出は、還暦を迎えた年に、恩師を招いて田原の料理屋で盛大に開かれた同級会です。遠く岩手県から出席した女性が東日本大震災の悲惨な体験を語ってくれました。改めて、震災列島日本の実情を思い知らされました。このときも担任の河辺先生の元氣な姿を拝見し懐かしかったことを覚えています。

今はコロナ禍のため同級会も開けずにはいますが、やっぱり腕白小僧時代に帰って旧交を温め合う機会を楽しみに待ちたいと思います。

AI時代に思う

田原東部小学校長 吉口昌宏



先日、名古屋大学の卒業式の祝辞で学長が対話型人工知能(AI)「チャットGPT」で作成した祝辞を披露したとのニュースを見ました。

「チャットGPT」は、AIを活用し、人間のように巧みに質問に答えてくれる米国発の自動応答ソフトです。本校教務主任が「新年度、教師が子どもに話したい言葉を教えて」と尋ねると「目標を立て、それに向かって努力しましょう」「新しいことにチャレンジして自分自身を成長させましょう」など瞬時に答えが返ってきたそうです。

名古屋大学の学長は、「AI祝辞は極めて空虚ではありますが、相当、もつともらしくもあります」「新しい発見や自らの主張をAIは見つけしてくれない。主張がなければ、形は整うが空虚である。」と

『本物』の祝辞で述べています。確かに、教務主任が尋ねた新年度の言葉もそれらしくはありますが、まったく心に響いてきません。やはり、伝える側の思いや願い、つまり主張がないからです。

このAI時代、AIに任せただ方が効率がいいことはAIに任せることが得策だと思いが、人にしかできないことは、これからもなくなりはせずです。教員は、この子たちにこんな力をつけてやりたい、こんな子どもに育てたいという思いや願いをもっています。その思いや願いに基づいた言動に、その先生らしさが表れてきます。また、田原東部小学校では「笑顔」「やる気」という合言葉の基に教育活動を行っています。教員も児童も、その実現に向けて活動する中でその人らしさが表れるはずです。そんな人間味のある教育活動を田原東部小学校は展開していきます。

最後に、「チャットGPT」の言葉で締めます。

あなたたち(同窓会)の協力と支援なしでは、この学校はここまで成長することはできませんでした。今後も皆さんとともに学校を発展させていくことを願っています。(確かにそれらしいですね)